湘南グリーン老健　上郷たより

湘南グリーン介護老人保健施設　上郷
247-0013
横浜市栄区上郷町 1045-1
TEL/045-890-6106　FAX/045-890－6107

７２号　令和３年 10 月

朝晩だいぶ涼しく感じられるようになりましたが、皆様には健やかにお過ごしのことをお慶び申し上げます。新型コロナウイルス感染症は減少傾向とは言え、明確な方向性が見えない中、面会については、恐縮ですが、引き続き中止とさせていただきます。

☆ 長寿の節目の表彰と職員による踊りで、長寿をお祝いしました。

敬老会の様子（９月１５日　午後）

ワンポイントアドバイス　～ 褥瘡予防のためのケア―！～　介護課　古賀　勇介

◇　保清に努めること・・・皮膚が汚染された状態が長く続くと、初めは発赤やただれの状態であっても、弱った皮膚は剥離しやすく、その剥離部位からの感染などにより悪化すれば、褥瘡につながる危険性があります。

◇　摩擦に注意すること・・・排泄介助の清浄時や軟膏を落とす時、ベット上で体を動かす時や車椅子上で座位を是正する時など、摩擦により患部を悪化させたり新たな剥離を発生させる危険性があります。

◇　常に観察する意識を持つこと・・・褥瘡好発部位に関わらず、圧迫痕発赤の状態を早期発見することにより早期に処置が開始できれば、患部の悪化を防げるだけでなく、完治までの期間短縮にもつながる可能性が高くなります。

＊ご利用のご案内

当施設では、入所利用者（４人部屋・２人部屋・個室)、通所リハをご用意しています。
空き室当の状況は常時変更になっておりますので、詳細は施設にお問い合わせください。
相談課・・・☎０４５－８９０－６１０６　　杉本・上松・松野

日頃の業務を通しての体験談　～スムーズな水分摂取をめざして～　介護課　藤岡篤史

「あれ・・・まだ残っていますよ」「ちゃんと飲んでくださいね」どこからともなく聞こえてくる掛け声、施設介護においてよくある日常風景です。私たちは一人一人の水分摂取量を把握・管理している為、水分摂取が少ない方には摂取して頂けるようアプローチします。熱中症予防には水分摂取が必須。室内にいても水分は摂らなければいけない。水分摂取の必要性は理解されている方も多いです。しかし、必要だと頭で考えるより、飲みたいか飲みたくないかの感覚を優先し行動する方も多いです。介護者は言葉で摂取を促すより、飲みたいという気持ちになって頂く事が大切だと思います。感覚で行動する方には気分が重要だったりします。同じ食席で似たような飲み物を提供するのではなく、ちょっと外(庭やバルコニーなど)に出て飲んでみても良いと思います。不可能であれば窓を開け外の空気を入れるだけでも気分転換になります。アロマや芳香剤などを使い、お花畑や森林浴にいるような気分を演出するのもいいかもしれません。在宅ケアにおいても水分をなかなか摂ってくれなくて悩んでいるご家族も多いと思います。水分での摂取が難しい場合は、ゼリーを提供したり、水分が多い果物を提供したりするのも有効です。いつもとちょっと違う事をすると、新たな発見があるかもしれません。

短時間デイケア営業を行っています。お申し込みをお待ちしています。

楽しくなれる！元気でいられる！　リハビリの専門家が利用者様の質を高め、毎日を
健やかに…体と心の両面をサポート！　気分転換し、違った雰囲気を感じてください！！

１３：３０頃　施設到着　水分補給　バイタルチェックほか
１３：４０～　リハビリ開始　・個別リハビリ　・自主リハビリ（器具を使用したリハビリなど）
１４：４０　終了　帰宅準備
１５：４０　お送り　施設発　　**お気軽にご連絡ください　デイケア担当　柳川・阿部**

今月のコラム　　私の仕事、私の思い　　デイケア　　扇谷　智美

私の担当は、レクリエーションです。
どなたでも出来るように、動作やルールは出来るだけ簡単にしています。主に投げる、打つ、蹴るという動作を中心に毎週違うレクリエーションを実施しています。
上手に出来る人、高得点が取れた人、手をたたいて喜んでいる人、失敗してしまう人、いろいろな方がいらっしゃいますが、いつも大きな笑いの渦に包まれながら、真剣に、かつ楽しくレクリエーションをしております。
工夫を凝らした手作りのレクリエーションを是非一度見にいらしてください。

スタッフ募集 ～　　短時間のパートでも相談に応じます。

・看護職員（常勤・非常勤）　資格・・・看護師・准看護師
・介護職員・通所介護職員（常勤・非常勤）　・事務職員（常勤）
＊詳しくは当施設総務課へお問い合わせください。　担当　出澤